

エコロジカルな回心 —すべてのいのちを守るため—

三ツ山修道院

三ツ山修道院では1月の集会で「エコロジカルな回心」の実践・努力項目として節電・節約の内容と地域清掃・リサイクルの内容が挙げられ、検討された。節電・節約については必要な電気のみ使用する、洗剤等日用品や紙など文具類の無駄をなくすなど日常生活の中で意識して実践すること、またコロナ禍の中で共同用のタオルからペーパータオルに代わり日々当たり前のように使い始めているので、適宜自分のハンカチを使用することなどが確認された。地域清掃・リサイクルについては月に一度、空き缶やゴミ拾いを有志で行うこと、生花の陶器鉢の返却などリサイクルに努めることなどが確認された。その他個人で実践できることに努めることとして共通理解の上で取り組むこととした。

以下、実施5か月の成果について報告する。

1. 共同体で実施

- 1) 節電に心がけ、共同で過ごす場合には日中の明るい時間帯は食堂や廊下、トイレなど必要のない電気はつけないようにし、食器洗いも共同で行うことで節水、洗剤の節約につなげている。
- 2) 三ツ山の上流地点に住んでいる住民として、日頃から環境を考慮し、ビニールやペットボトルなどが川や海洋汚染につながらないようにゴミ拾いに取り組み始めた。1月から毎月1回、有志の姉妹が大学からめぐみ橋までの区間の空き缶やゴミ拾いを実施している。徐々にごみの量が少なくなっているとのこと、毎月の成果が表れている。

2. 個人での具体的な取り組み

節電の実行内容として、乾燥機、除湿機はタイマーセットして使用し、他の電気などは消し忘れがないように注意している。節電について共同で実施できるよう学生にも声かけを行っている。

節約に関して用紙を無駄にしないよう必要に応じて下書きをし、よく熟考して書くことを心掛けている。洗剤は適量を計り、水も適量を使用し使いすぎないように注意している。マスクは市販のものと布製のものを使い分け、使い捨てを減らすよう努めている。感染対策に注意しながら適宜、マイハンカチをしっかりと活用している。食卓に出されたものを感謝していただくことを心掛けている。

この他にも以下に示す取り組みがある。

- 1) 枯れ葉など定期的集め、堆肥や腐葉土として活用。
以前からの継続で、数年かけて立派な肥料ができているとのこと。肥料に交じってビニールがそのまま残っていることから、生ごみをビニールに入れるのではなく新聞紙や広告を活用し、二重にするなど丈夫な袋を作ってこまめに処理し、ビニール廃棄に努めている。
 - 2) 周囲が自然に囲まれているので、時期によっては枯れ葉が多くなるため、集めて枯葉を必要としている近隣の共同体に届け活用してもらっている。
 - 3) 木の実や食べられる花・草・木は食用や茶として加工・保存食として利用している。
 - 4) 園芸道具等は手入れをし、いつでも使えるようにしておくことを心掛けている。
 - 5) 掃除や消臭として市販の洗剤などではなく、自然にやさしいEMを活用している。
- 今後も、共同体・個人として「エコロジカルな回心」に取り組み、小さな成果を確実に積み重ねていけるよう努めていく。